

## 議 事 要 旨

<b>名 称</b>	令和4年度 第2回中小企業振興円卓会議	
<b>開催日時</b>	令和4年12月5日(月) 10:30~12:00	
<b>開催場所</b>	松山センタービル1号館 4階第1会議室	
<b>委 員</b>	<b>出 席</b>	<p>愛媛大学 法文学部 教授 和田 寿博 (座長)</p> <p>公益社団法人松山法人会 事務局長 淵上 悟 (副座長)</p> <p>松山商工会議所 経営支援部 担当部長 槌谷 将広</p> <p>北条商工会 事務局長 椋名 克明</p> <p>中島商工会 事務局長 坂東 健吾</p> <p>愛媛県中小企業団体中央会 振興部 部長 井上 和也</p> <p>松山短期大学 教授 黒田 明良</p> <p>株式会社日本政策金融公庫 松山支店 融資第二課 課長 小林 良弘</p> <p>株式会社伊予銀行 地域創生部 課長 兒玉 洋平</p> <p>株式会社愛媛銀行 公務ふるさと振興部 部長 岡田 温仁</p> <p>愛媛信用金庫 常勤理事 木内 清</p> <p>特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ 代表理事 堀田 真奈 (代理出席)</p> <p>愛媛県中小企業家同友会 政策委員長 米岡 一嘉</p> <p>公益財団法人えひめ産業振興財団 事務局次長 竹内 耕三</p>
	<b>欠 席</b>	<p>愛媛大学 社会連携推進機構 教授 前田 眞</p> <p>愛媛県若年者就職支援センター (ジョブカフェ愛work) リーダー 寺尾 真奈美</p> <p>愛媛県経済同友会 事務局長 川平 明生</p>
<b>事 務 局</b>	<p>松山市産業経済部 地域経済課 課長 丹生谷 英司</p> <p>松山市産業経済部 地域経済課 中小企業応援・雇用担当課長 今村 雅臣 他</p>	

## 議事内容

### 1. 開 会

#### 2. 令和4年度専門部会活動について（中間報告）

- 各専門部会長が今年度の活動について報告を行った。（資料1-1～1-4）
- 委員から、SNSを活用した情報発信に取り組みたいという中小企業の関心の高まりを挙げる声があった。また、対面での事業が難しいコロナ禍だからこそ、インターンシップ等のリアルな人との関わり合いの重要性を指摘する声が大い、等の意見が挙げられた。

#### 3. 令和5年度専門部会活動提案について

- 各専門部会長が来年度の活動について新しい提案を行った。（資料2-1～2-3）
- 委員から、各専門部会の新たな取組みについての質問があった。
- DX推進について、現状としては業種によって興味の強弱があるとの意見があった。また、概念がなかなか理解されていないと感じているため、まだまだ周知啓発といった意識付けを根気強く続けていく必要がある、等の意見が挙げられた。

#### 4. その他

- 「融資、創業、景況感についての現状」をテーマに、意見交換を行った。
- 融資の現状としては、コロナ禍体制から平時に戻りつつある。コロナ関連融資や補助金の影響もあり手元資金に少し余裕があるのか、貸出金自体は少し伸び悩んでいる感がある、との意見があった。
- 創業の機運は少し戻っていると感じる。特に女性の30代40代の方の創業がかなり増えてきている。女性が働くうえで創業というのも一つの選択肢として考えられてきているとの意見があった。
- 閉店した飲食店跡地で新たに飲食店を始める若い方がいらっしゃると聞く。アフターコロナで新たな創業のトレンドがあるのか？と感じた。
- 生活のためや利益のためではなく、地域や社会への貢献を目的とした創業が増加している印象は受ける、との意見があった。
- 特に零細事業者は、インボイス対応を機に事業をたたむケースが多くなるのではないかと懸念している、との意見があった。

### 5. 閉 会

